

認知症作業療法 活動報告 (概要)

愛知作業療法士会では、アップデート研修受講生を10月に開催いたしました。人数としては20名という少ない参加者ではあるものの着実に研修修了者を出していきけるようにしました。また、昨年度は「わたしらしく生きていく」をテーマに当事者の方や、名古屋市認知症相談支援センターの方と連携し生活の工夫などや地域にどのように関りを持ちだしたかを具体的に会員に開示してきました。今年度は、ステップアップ研修としてチーム連携を図り言語聴覚士との連携を図り「認知症の方の食支援」をテーマに2月に開催を予定しております。

普及啓発事業

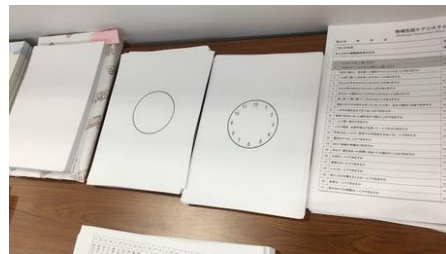
【Welfareウェルフェア2019国際福祉健康産業展】

2019年5月、医療・福祉・ヘルスケア産業の振興と商取引の拡大、および地域住民の福祉・健康の増進を目的として開催されるウェルフェアにて県士会からの委託を受け3日間、作業療法の普及啓発・県士会の活動紹介を行いました。今回、**DASC21**と**CDT**を行い「地域活動に参加されている方」を対象に生活機能障害と認知の話を行いました。実際に体験された方からは多くの質問や作業療法の活動内容の認知につながりました。



【中日新聞主催 お仕事フェア】

2019年2月、中日新聞社主催のお仕事フェアにおいて有資格者対象に「知っておきたい！認知症の方の理解と寄り添い方」をテーマに講演と個別相談を行いました。多数の参加と個別相談では具体的な事例の中での工夫や寄り添い方を話し合うことができました。



【RUN伴 2019】

今年のRUN伴は、名古屋市のいきいき支援センターの認知症フォローアップ講座として丹野さんの講演の翌日に「あゆみの会」との連携で行われました。地下アイドルの参加など、参加メンバーの輪の広がりが年を重ねる毎に大きくなっているように感じました。

今後の展開

・来年度以降の作業療法推進委員は、現在県士会の理事会の中で方向性と存続が検討されております。今回の研修会を踏まえて運営方法や対策を考えていく分岐点が来ていると感じます。